

粉体の固結の機構・因子・評価・対策

～粉体特性と固結度合の評価方法とは～

日時 2016年7月29日(金) 12:30～16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 商工情報センター(カメラプラザ) 9F 第2研修室 東京都江東区亀戸2-19-1

定員: 30名

受講料 49,980円 ※資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

講師 西井 和夫 氏 / (株)新造粒技術研究所 代表取締役 技術士(化学)、博士(工学)

趣旨

粉体トラブルの要因で最も多い割合を占めるのは付着・凝集・固結である。しかし、粉体のトラブルを扱う成書においても、固結の解説内容は機構や対策に関する基本のみである場合が多い。

これのみでは固結対策を具体的に検討することは難しい。また、粉体は多種多様であり、対策の検討に際して同様の事例を見出すことは非常に難しいと思われる。固結対策を図るにはまず、粉体の種類を限定せずに多くの情報を収集することが必要であると考え。近年、糖類などの固結に関する研究成果が多く発表されている。そこで、本セミナーにおいてはこれらをベースとして固結の機構、因子、評価、対策について解説する。

プログラム

1. なぜ粉は固結するのか

1.1 固結の機構

1.1.1 水による固結(凝縮/乾燥、ガラス転移、水和反応)

1.1.2 熱による固結(溶融/固化、ガラス転移)

1.2 固結の因子

(粉体特性、温度、湿度、圧力、環境条件の保持時間/繰返し数)

2. どのように固結性を評価するのか

2.1 粉体特性の評価

(水蒸気吸着、臨界相対湿度、ガラス転移温度、スティッキポイント温度)

2.2 固結度合の評価(一軸圧縮強度、解砕度、貫入度等)

3. どうすれば固結は防げるのか

3.1 原料の対策

(粉体特性の改善、粉体表面特性の改善、固結防止剤の添加等)

3.2 装置・構造の対策

3.3 運転・操作条件の対策

3.4 保存条件の対策

4. どのような固結対策がとられているのか

4.1 原料の対策例

4.2 プロセスの対策例

4.3 原料粒子の対策とプロセスの対策の併用例

【質疑応答・名刺交換】

『粉体の固結の機構・因子・評価・対策』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。